

カレィ



かれんと いんふおめ〜しょん

2006.6.15 発行：No.53
TEL 03-3985-2628
立教大学図書館

目次

授業内検索講習会を実施しています	p1
「授業内検索講習会」では こんなことを勉強します	p2
その他こんな講習会もあります	p2
図書館旧館耐震補強工事実施	p3
旧心理学科分室図書資料の 所蔵館と配置場所について	p3
<読書ナビ>15回 立教経営学を知るための10冊(+α)	p4

授業内情報検索講習会を実施しています

図書館では4～5月、9～10月にかけて「授業内情報検索講習会」を実施しています。

1授業につき2～3名の図書館員が実際に授業に出向き、立教大学図書館での資料の探し方、立教大学以外の機関の所蔵資料の探し方を基礎から分かり易く指導します。パソコンの操作に不慣れな新生にも懇切丁寧に対応しています。

講習会では、8号館のコンピューター教室もしくは7号館2階のメディアライブラリーにて参加者全員がパソコンを利用し、図書館員の講義を聞いたうえで、実際に立教大学の蔵書検索システム（OPAC）を使って図書館での資料の探し方を理解します。その他、立教大学が契約している外部機関の新聞・法律情報などのオンラインデータベースを利用し、外部機関の様々な情報検索ツールを実際にパソコンのキーボードを叩きながら体験してもらっています。

昨年度は前期・後期を合わせて合計35回の講習会を実施し、約900名の学部学生・大学院生が参加しました。2006年度は、4～6月にかけてすでに昨年度の合計を上回る65回の講習会を実施し、約2100名の学部学生・



大学院生が参加しています。昨年度の講習会参加者アンケート結果では「資料が素早く探せるようになった」「資料の検索方法を知っているのと知らないのでは大分違う」

「レポート・論文の作成に非常に役に立った」といった感想もありました。今後も学部・学科単位、ゼミ単位で「授業内情報検索講習会」を大いに利用していただき、授業や研究に役立ててもらうことを期待しています。

「授業内検索講習会」ではこんなことを勉強します

授業内検索講習会では、学部・学科・ゼミ単位で、図書館における蔵書検索システム(OPAC)を使った図書・雑誌の検索方法、CD-ROM・オンラインデータベースといった外部機関の情報検索ツールの利用方法などを基礎から分かり易く指導します。以下に基本的な講義内容を紹介します。

- * 立教大学図書館の蔵書検索方法 (図書・雑誌)
- * 山手線沿線私立大学図書館コンソーシアム加盟校の蔵書検索方法
- * 国立情報学研究所の検索システム (NACSIS-WebCat・WebCat-Plus) の使い方
- * 国立国会図書館の検索システム (NDL-OPACなど) の使い方
- * 立教大学から利用できるオンラインデータベースの使い方
[日経テレコン21・TKCローライブラリー・Lexis-Nexis Academicなど]
- * 立教大学各図書館見学 (ご希望により)

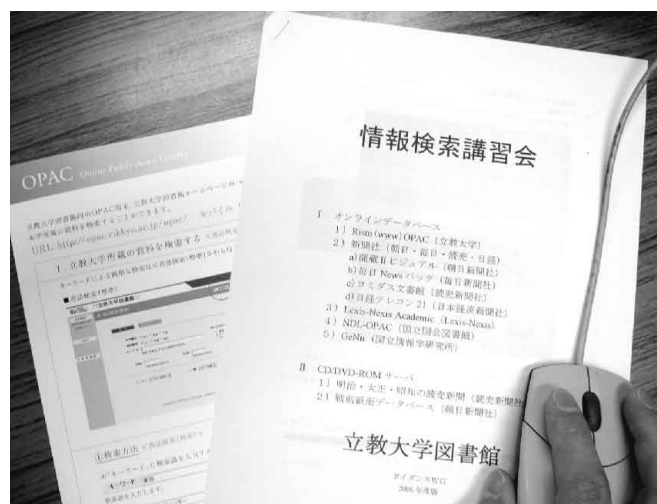
学生のグループ学習でも、希望のある場合は担当の先生にご相談ください。

※授業を担当される先生方へ

立教大学図書館ホームページの「情報検索講習会案内」のページにリンクしてある申請書に必要事項を記入し、池袋本館閲覧課、もしくは新座図書館までご提出ください。

その他こんな講習会もあります

以下の講習会は昼休みや5時限目以降の時間帯を利用して、図書館旧館1階利用者講習室や7号館2階メディアライブラリーで実施しています。図書館としては、学生の学習の手助けができるように環境を整備しております。ひとりでも多くの学生の講習会への参加をお待ちしています。こちらは、学生の皆さんが直接申し込むことができます。



- * 「OPAC講習会」(5月・9月)
学部1年次生向けの内容になります。
- * 「各種データベース講習会」(6月・11月)
EBSCO・ProQuestなど海外情報のデータベースの利用方法について外部講師を招いて指導します。
- * 「レポート・論文作成の為の講習会」(7月・12月)
レポート・論文作成に備えて資料の探し方等についても指導します。
- ※ 図書館ホームページや図書館内の掲示板でご案内します。
- ※ 参加希望者は図書館本館、新座図書館閲覧カウンターで申し込みをしてください。

図書館旧館耐震補強工事実施

図書館旧館（2階参考室、1階閲覧室等）は、本年8月から12月まで耐震補強工事を行います。1918年竣工した図書館旧館は、関東大震災の被災を受け1925年に大規模改修を行っています。立教大学では池袋キャンパス耐震対策として、鉄筋コンクリート造建物については図書館新館（1997年）から順次耐震補強工事を実施し、レンガ造建物も礼拝堂（1998年）、第1食堂（2001年）、2・3号館（2002年）と、本学における目標耐震性能を確保する工事を行ってきました。本年、図書館旧館は、耐震壁の新設、既存柱の補強等による耐震工事を行うことにより、震度5弱程度に対しほとんど無被害、予想される最大規模の地震（関東大震災レベル）に対して建物全体として著しい耐力低下がないレベル、また補修により再利用が可能なレベルの耐震強度が備わります。

耐震補強工事のため、図書館本館の旧館部分は本年8月から12月まで利用できません。また、隣接した図書館新館（閲覧室）も工事の影響を受けることになります。図書館では、できる限り、利用上のご不便をかけないように致しますので、ご理解・ご協力いただきたくお願い申し上げます。

工事期間中の図書館本館所蔵資料の利用、他大学所蔵資料の借用・文献複写、他大学等への紹介状発行、レファレンスサービスなど、サービスの詳細は、図書館ホームページ (<http://opac.rikkyo.ac.jp/>) にてご案内いたしますので、ご覧ください。

旧心理学科分室図書資料の所蔵館と配置場所について 人文科学系図書館

現代心理学部開設にともない、池袋キャンパス9号館の旧心理学科分室に所蔵されていた図書館資料は、2006年度中は池袋キャンパスに分散して設置され、2007年度からはすべて新座図書館に所蔵が移ります。ご不便をかけ申し訳ありませんが、OPACで配置場所をご確認の上ご利用ください。（所蔵館表示は「新座図」になっていますが、下表の配置場所に所蔵されております。）

社会科学系図書館（池袋キャンパス12号館）の所蔵資料は、カウンターで請求してご利用下さい。また図書の貸出期間・冊数等については、新座図書館（新座キャンパス）の規程が適用されます。

学部2・3年生が利用する実験用図書は、人文科学系図書館（池袋キャンパス6号館）1階の院生閲覧室に配架されています。

旧心理学科図書資料		現在の所蔵場所	OPACの画面表示（所蔵館・配置場所）
★	製本雑誌 (バックナンバー)	洋 797冊	新座図 人文図5階保管中 20/S003
★		和 261冊	新座図 人文図院生室雑誌保管中 20/S004
★		和洋 3,783冊	社会科学系図書館地下書庫
	図書（単行本）	10,407冊	社会科学系図書館地下書庫
			社会科学系図書館地下書庫
	実験用図書	161冊	人文科学系図書館1F(院生室)

★の資料：2006年秋から新座図書館所蔵 無印の資料：2007年度から新座図書館所蔵

経営学部の特徴は、他大学の商学部・経営学部にはない個性的で立教らしい研究教育（徹底した英語教育、リーダーシップの養成など）とならんで、社会学部と経済学部という経営学部の2つの故郷をいかした学際的アプローチとカリキュラムにある。ここでは「立教経営学」の視点から学際的な10冊(+α)を紹介しよう。

経営学は企業が競争するための道具であると誤解する人もいるが、もしそうなら経営学は技術であって学問ではなくなる。企業や個人が厳しい競争をしているのはまぎれもない事実であるが、経営学が問うのは、人間にとって市場競争とは何か、何であるべきかというヒューマニスティックで根源的な問題である。経営学を学ぶ諸君は、時代を見る大きな眼と企業や仕事を見る鋭い目を養ってほしい。

宗教と経済、宗教と経営は、聖と俗という正反対のものと思っている人が多い。経営は倫理とは関係ないと誤解している人も多い。(1)ウェーバーの『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』(岩波文庫版)と『宗教社会学論選』はそういう人のためにある。ウェーバーが論じたのは絶対的な孤独、個人主義がどうやって近代西欧に成立したのかということであって、その意図せざる副産物として市場・資本主義がでてくる。ポラニーも市場と社会との関係を考えるために重要だし、ジェームズ・コールマンを方法論的個人主義の相対化のためにリストに入れておくべきだがここでは推薦リストからはずす。(2)「シュムペーター的イノベーション」という言葉はイノベーション関係の論文によく出てくる鍵概念。イノベーションに関心がある人はシュムペーターの『経済発展の理論』を読んでおきたい。(3)マクロ的に企業と労働を考えるために、ピオリとセイブルの『第2の産業分水嶺』は大量生産という現代社会のインフラを、そのリスクと代替オプション「柔軟な専門化」の点から総括的に分析した有名な文献。(4)経営史と経営戦略論をつないでいるチャンドラーの『組織は戦略に従う』は、推薦書というより「戦略と組織」の議論はこれがないと始まらない基本文献。(5)経営管理論プロパーの分野では、バーナード『経営者の役割』と、マーチとサイモン『オーガニゼーションズ』ははずせない。マーチは心理学者で、組織学習論のパイオニアである。サイモンは行政学から入った組織論の経営学者で、ノーベル経済学賞をうけた。(6)半世紀にわたり広い読者層に支持されてきたドラッカーも推薦書リストには不可欠だ。どれか1冊というとながしいが『現代の経営』を薦めたい。(7)最良の意味でドラッカーの影響を感じさせるのがジョアン・マグレッタだ。Harvard Business Review誌のエディターをつとめた彼女の『なぜマネジメンなのか』は経営学入門の良書である。彼女は経営戦略論の著名な論文集を編集しているが、本書でも随所にその経営と組織についての深い洞察を感じる。英語による入門書としても、Joan Magretta, *What Management is*, New York: The Free Press, 2002は読みやすい。(8)経営戦略論プロパーの分野では、1980年代から競争戦略のドミナント・ロジックを作ったポーターの『競争の戦略』と、対照的なロジックで戦略論を展開するバーニーの『企業戦略論』を読み比べるとこの分野のおもしろさがわかる。1990年代にバーニー的な戦略論を広めたのは、ハメルとプラハラードの『コア・コンピタンス経営』だった。フェファアの『隠れた人材価値』も分析的戦略論へのアンチテーゼとして説得力がある。産業ベース論と資源ベース論の論争で疲れた頭を、異端児ミンツバーグの『戦略サファリ』でいったん整理すべきか。(9)ミクロ的に組織をみる組織行動論では、ステファン・ロビンスの『組織行動のマネジメント』は組織の中の人間行動を考える楽しみを教えてくれる。(10)より包括的に戦略や人事管理について知りたい人にはジャコービの『雇用官僚制』などの3冊の訳書のうち『日本の人事部・アメリカの人事部』〔原題はEmbedded Corporation、つまり社会に埋め込まれた企業の意〕の一読を薦めたい。企業は真空の中で活動しているのではない。社会、歴史、人間、文化の中で経済活動を営んでいるのである。

※経営学部は、立教大学の新学部として2006年度より発足しました。

文中にご紹介いただいた資料はすべて立教大学図書館で所蔵しています。

開館日程等については図書館のホームページでご案内しております。

(<http://opac.rikkyo.ac.jp>)

※その他変更がある場合はその都度、掲示でお知らせします。